

# 東久留米市立東中学校 平成29年度 学校経営計画

東久留米市立東中学校

校長 松田 正

## 1 基本方針

平成29年度の教育計画（教育課程）を適正に実施し、本校の教育目標を達成するために、次の3点の基本方針を中心に取り組み、理想とする学校像・生徒像・教師像の実現に努力する。

1 教職員間のコミュニケーションを大切にし、**チームワーク第一**で諸課題に取り組む。

2 教職員一人一人が**研修・研究**に励み、**力量向上**に努力し、職務遂行への責任を果たす。

3 地域・保護者・関係諸機関と連携・協力し、「**開かれた学校づくり**」に取り組む。

教育目標 東中生徒の伝統（言われなくとも進んでやる）

- **よく考え自主的に行動できる生徒の育成**
- 責任を果たし努力できる生徒の育成
- 健康で心豊かな生徒の育成

目指す学校像

- 生徒が「**学ぶことの楽しさ**」を味わえる学校
- 「**人権尊重の理念**」が浸透し生徒が安心して通える学校
- 「**たくましく成長する生徒**」の育つ学校
- 「**粘り強く行動し、目標を実現する生徒**」の育つ学校
- 「**地域・保護者からの信頼**」が厚い学校

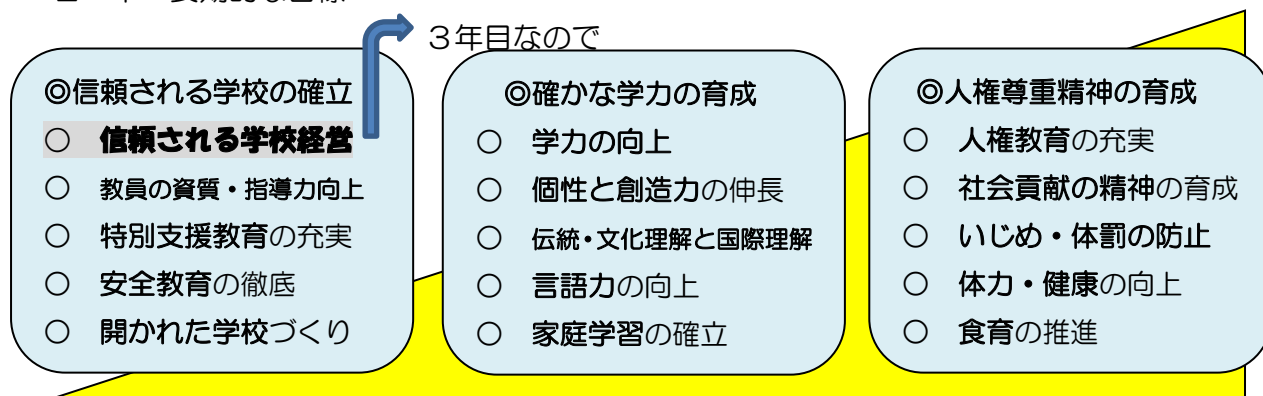
目指す生徒像

- 挨拶・礼儀・マナーがきちんとできる生徒
- 知（確かな学力）と徳（心豊かな人間性・社会性）、体（心身の健康）を備えた調和のとれた生徒
- 深い思考・正しい判断・豊かな表現のできる生徒
- 自他の生命を尊重する優しい心情と態度及び共に生きる思いやりの心をもつ生徒
- 個性と創造力を豊かに発揮する生徒
- 心身の調和を図り、体力の向上に取り組む生徒
- 生涯にわたって読書を愛好できる心をもつ生徒
- 生涯にわたる生き方を考え、自己実現のできる生徒
- 広く国際社会において尊敬と信頼を得ることのできる人間性豊かな生徒

目指す教師像

- 人権意識が高く体罰や不適切な言動のない**適切・適正**な指導のできる教師
- いじめの未然防止と**迅速な対応**のできる教師
- 道徳教育を推進し、**生徒と共に語り合う**教師
- 授業の工夫改善に熱心に取り組み、**生徒の学力向上**を図ることのできる教師
- 生徒の体力の現状を把握し**体力向上を推進**できる教師
- **キャリア教育**を推進し生徒の**個性や創造力**を引き出すことのできる教師
- 生徒の**安全確保と事故防止**の徹底に努める教師
- 地域・保護者・外部機関と連携し、「**開かれた学校づくり**」を推進できる教師

## 2 中・長期的な目標



## 3 今年度の目標実現のための具体的方策

### 組織的な動き

#### (平成29年度の取組み)

#### 宮寺清 (多摩市諏訪中より)

- ① **経営支援部の設置** 校長退職者による副校長の校務軽減及び若手教員の育成等
- ・管理職候補者の育成・指導 校長候補者1名 副校長候補者1名
  - ・若手教員の育成・指導 初任者1名 2年次2名 3年次1名
  - ・経営支援会議の設置・運営 月2回実施 (副校長・3主幹・事務・用務)
- ② **3会議での十分な審議** 主幹会議 (毎朝) 経営協議会 (週1) 職員会議 (月1)
- ③ **専門委員会による課題対応** いじめ不登校防止委員会・国語力向上委員会・ICT委員会
- 不登校生徒数3月時点10名 → 本日現在18日の時点で0人 (30日以上)**
- 新入生0人 2年生3人 (登校2名・適応教室1名) 3年生5名 (登校5名全員) \*全員1日以上登校**
- 今後休みが続くと7名で昨年度3名減となるが3年の2名は良く出てきている。3名は週1
- 特別支援教育推進委員会・オリパラ教育推進委員会指導工夫改善推進委員会・食育推進委員会

### 研究・研修の推進

#### (平成29年度の取組み)

- ① **研究** 国語力ステップアップ実行委員会 副校長・国語科・学年主任
- ICT研究推進委員会 副校長・英語科・技術科
- 特別な教科「道徳」推進委員会 副校長・道徳授業推進教師・学年道徳担当
- 新学習指導要領推進委員会 副校長・主幹会議
- ② **研修** OJT 副校長・研究主任・各分掌主任を中心に全教員
- 若手教員育成研修 副校長・教務主任を中心に若手教員全員
- ICT研修 副校長・ICT担当を中心に全教員
- ③ **その他** 教師道場1名研究授業・語学研修1名6月～8月 (英語科1名アメリカ)・市授業改善研

### 地域・外部との連携

#### 秋に地域関係者と防災訓練予定

#### (平成29年度の取組み)

- ① **地域防災会議の設置** 市防災課・防災まちづくりの会・自治会・消防署と防災訓練の実施
- ② **外部機関との連携** 青少協・民生児童委員・中央相談室・子家セン・小平児相他

③小中連携 小中連携の日を中心に教育課程や生徒指導・特別支援教育など幅広く交流

学習指導

(平成29年度の取組み)

- ① 「**カリキュラムマネジメント**」に基づいた教育課程の実施
  - ・教科と総合的な学習の時間 オリパラ教育(35時間)
  - ・特別な教科「**道徳**」と各教科 アクティブラーニング
  - ・国語科と各教科・総合 アクティブラーニング・言語活動
- ② 「**家庭学習の習慣化**」(1年1時間以上・2年2時間以上・3年3時間以上)
  - ・「**学習の手引き**」の作成・活用
  - ・「**家庭学習の手引き**」の作成・活用
- ③ 「**国語カステツアツ**」の取組み
  - ・読書活動の推進(朝読書・読書週間期間の設定)
  - ・作文活動の推進(人権作文・薬物標語・租税作文等のコンクール応募)
  - ・校内意見発表会(2学期)の実施
  - ・漢字検定(年3回)の受検
  - ・グループ活動を通じた意見発表やディスカッションなどの実施
  - ・アドバイザーによる教員指導及び支援員による学習指導
- ④ 「**学カステツアツ**」の取組み
  - ・**数学** 「**振り返り学習**」・「**反復学習**」などにより、学習につまずいている生徒について、基礎・基本を確実に身に付けさせる
  - ・**理科** 「**実験**」を多く取り入れた授業の展開 ・アドバイザーによる教員指導及び支援員による学習指導
- ⑤ 「**習熟度別少人数指導**」の実施
  - ・**英語科・数学科** 1年・2年(2クラス3展開と1クラス2展開)3年(2クラス3展開)とし各授業15~20人での少人数授業を実施
- ⑥ 「**ALT を活用した授業**」の実施
  - ・英語での授業を実施
  - ・英語でのコミュニケーション能力の育成
  - ・国際理解教育の推進を図る
- ⑦ 「**ICT 教育の研究校**」の取組み
  - ・タブレットPCの活用と研究
  - ・電子黒板の活用と研究
  - ・デジタル教科書の活用と研究
- ⑧ 「**体力向上**」の取組み
  - ・「**一校一取組運動**」の推進 冬季「**体力向上キャンペーン**」期間の設置
  - ・「**東京駅伝**」への選手育成
- ⑨ 「**豊かな情操教育**」・「**個性や創造力の育成**」 音楽科や美術科の学習の発表
- ⑩ 「**ものづくり**」 技術家庭科の授業での作品作りと技能向上を目指す。
- ⑪ 「**適正な評価・評定**」 適正な評価規準や評価基準を設定し、学習意欲の向上を図る。

## 道徳教育

(平成29年度の取組み)

- ① **特別な教科「道徳」の授業先取り** 市教委訪問の際の全学年での研究授業を実施
- ② **「道徳授業地区公開講座」の実施** 授業参観や意見交換会を通して地域・保護者とともに「道徳」について考える
- ③ **「通常学級と特別支援学級との交流」** お互いの立場を尊重できる豊かな心を育成
- ④ 年間35時間の授業 「道徳的実践力」の育成
- ⑤ **「体験学習・交流活動」の実施** 他者とかかわる心や態度や尊重する態度を育成

## 特別活動

(平成29年度の取組み)

- ① 学級活動 「学校生活への適応」「級友との協力」「行事への団結」などの態度を育てる。
- ② 学校行事 「主体的・積極的に取り組む態度」「自校の伝統や文化への誇り」「たくましく生き抜く基礎的・総合的な力」「創造性の発揮」などを育成する。
- ③ 生徒会活動 「集団生活の向上に尽くすリーダー」を育てる。
- ④ 社会貢献活動 地域行事・清掃活動や部活動の演奏活動等で「**地域の一員の自覚**」を深める。
- ⑤ 食育指導 給食指導を通して、正しい食生活を送るために取り組む。また、養護教諭を中心に食物と「**アレルギー対応**」について十分な理解と適切な対応を図る。

## 総合的な学習の時間

(平成29年度の取組み)

- ① **「教科等との関連」** 「カリキュラムマネジメント」に取り組み、生徒の興味・関心に基づいて「**自己の課題を設定し、探求し、解決する力**」を育成する。
- ② **「キャリア教育」** 「2年職場体験」「1～3年進路指導」など、「**自己理解力・将来設計力・生き方を探求する態度**」を育てる。
- ③ **「言語活動の向上」** 情報の集め方・学び方・ものの考え方・まとめ方を身に付け、「**討論・報告・発表等の機会**」を作る。
- ④ **「情報教育」** 情報機器の活用能力の向上・情報モラル教育に取り組む。

## 特色ある教育活動及びその他の活動

(平成29年度の取組み)

- ① **「部活動」** 教育活動の一環として全職員で取り組む。
- ② **「開かれた学校づくり」** 休日に学校行事、授業参観、学校公開を設定し、「**地域関係者や保護者等の来校者の増加及び学校の教育活動の評価**」を実施する。
- ③ **「人権作文・人権標語」** 人権尊重の精神の育成を目指して、自らの意見表明や他者の意見を尊重できる態度の育成に取り組む。
- ④ **「オリンピック・パラリンピック教育」** オリンピックやパラリンピックの歴史や意義の学習、**アスリートとの交流を実施する。**

- ⑤「図書室の活用」 「読書活動」「新聞を読むこと」「資料活用能力」の育成
- ⑥「三大行事（運動会・文化祭・合唱コンクール）」 自主性、責任感、感謝の気持ち等の育成
- ⑦「小・中連携」 中1ギャップの解消や、学習指導、生活指導などの共通理解を図る。
- ⑧「特別支援教育」 「通常学級との連携」「特別支援学校との連携」「個別の教育支援計画及び個別指導計画の作成」に取り組み生徒の円滑な学校生活を支援する。

### 生活指導

（平成29年度の取組）

- ①「人格の完成」 「挨拶や礼儀・マナー・身だしなみ・言葉遣い」などの基本的な生活習慣の確立のため、毎月の生活目標を設定し育成する。
- ②「規範意識の育成」 学級・学年集団の中で行動することで、「法や決まり・ルールを守る意識」を育成する。
- ③「スクールカウンセラーの活用」 「1年生全員との面接」や「親子の教育相談」、「学校不適應等の生徒の早期発見・早期対応」などを行う。
- ④「家庭訪問・教育相談」 「きめ細かな家庭との連携」のため長期休業中など複数回実施する。
- ⑤「いじめ問題」の対応 「いじめの早期発見・早期対応」を目標に「いじめ防止対策委員会」を設置し、関係諸機関とも連携して迅速・的確に解決する。
- ⑥「不登校生徒」の対応 **担任だけでなく、SC、養護教諭、SSWが家庭と連携し対応する。**
- ⑦「防災教育」 「防災・避難訓練」「防災に関する講話」を通して災害から、自他の生命を守る方法を身につける。
- ⑧「安全教育」 「セーフティ教室」「薬物乱用防止教室」「交通安全指導」「AEDの使用訓練」などに外部講師を招き、自らの生命と健康を守ろうとする態度や能力を育成する。
- ⑨「情報モラル教育」 「生徒や家庭による「SNS」使用のルール」の徹底により、トラブルの未然防止を指導する。

### 進路指導

（平成29年度の取組み）

- ①「キャリア教育」 「職業調べ」「職場訪問」「職場体験学習」などを通して、「より良い生き方」「職業への興味や関心」「望ましい勤労観」「将来・生涯の生き方の設計力」「自己の個性や適性を理解」を「教科や総合的な学習の時間と関連」や「体験学習など多くの人と関わる機会」を通して「自己の生き方を考える態度」を育成する。
- ②「進路選択」 「進路面談」「進路ガイダンス」「進路に関する情報提供」「自己実現に向けた進路選択能力の育成」などを目的に、進路指導主任を中心に組織的・計画的に指導を推進する。